

## 2012 年度第 5 回多摩デポ理事会

- 1 日 時：2012 年 12 月 11 日（火） 午後 6 時 30 分から午後 9 時まで
- 2 場 所：八王子クリエイトホール第 4 学習室（八王子市東町 5 番 6 号）
- 3 議決権のある理事：8 名、出席理事：6 名

出席者：座間直壯、平山恵三、齊藤誠一、田中ヒロ、手嶋孝典、矢崎省三

（事務局：堀渡、吉田光美）

### 4 報告及び協議事項

#### （1）第 1 号議案 会員の動向について【報告】

11/30 現在 正会員 105 名 3 団体 賛助会員 43 名 2 団体 計 153 名・団体

（正会員 1 名入会、賛助会員 1 名死亡退会）

会費納入率 79.1%（正会員 79.6% 賛助会員 76.1%）

他に 11 年度分正会員 2 賛助会員 3、 13 年度分正会員 1 賛助会員 2）

前回理事会以降納入 1 名。会費未納者へは、通信で納入を呼びかけた。今後メーリングリストでも呼びかける予定。また 1 月には個別に納入お願いを予定している。

#### （2）第 2 号議案 多摩デポ関係記事について【報告】

##### 【多摩デポ記事】

- ・平成 24 年度第 98 回全国図書館大会島根大会要綱 p143-145: 第 9 分科会事例報告②岩手県の救済活動～受援者の立場から(澤口祐子)
- ・2012. 11No. 620 国立国会図書館月報 p5-10: 一歩ずつ、前に 被災資料救済支援の現場から(岡橋明子)
- ・2012. 11No. 620 国立国会図書館月報 p11-14: 陸前高田市立図書館郷土資料救済支援について(澤口祐子)
- ・「文化財を救えー郷土の歴史を後世に伝えるためにー」 陸前高田古文書研究会 2012. 11  
※p26「東日本大震災」以降、陸前高田古文書研究会に御支援・ご協力いただいた団体及び関係機関のご芳名

##### 【共同保存図書館記事】 特になし

#### （3）第 3 号議案 図書館資料の里親探しについて【報告】

・事務所に保管中の参考図書・全集リスト化が済み、多摩地域内での所蔵状況を確認中。里親探しは 1 月から着手予定。

→2 月の多摩地域図書館大会で展示させてもらうなどの方法も考えたい

・前回以降の申込はなし。

#### （4）第 4 号議案 第 15 回多摩デポ講座について【報告】

日時:2012 年 11 月 16 日(金) 午後 1 時 30 分～午後 4 時

場所:八王子市中央図書館 3 階視聴覚ホール及び館内

演題:「八王子市の英断 地域資料が残った」中村照雄氏(八王子市図書館)

参加者 23 名(会員 11 名、会員外 12 名)

※会員外のうち現職図書館員 4 名(調布 1、町田 1、三鷹 2)

※書庫の壁一面に収納された現物を説明付きで見せていただき、充実した会だった。

※デポ通信や会のチラシではなく、おそらくJLAのMLや人づて等で参加された方や地元の人も。  
※八王子市は書庫のスペースづくりやデータ付与など大変な作業だったが、公開後月に百人ぐらいは利用があり、中央館長ほか現場の支持がある様子が伝わってきた。

- 八王子市が三多摩全体のために決断してくれた事に対する館長会の反応、関心度が気になる。
- ・資料の継続性を考えると各自自治体でこれからやらなければならないことがあるのではないかな。
- ・地域資料から共同保存につなげる動きを作りだしたい。

#### (5) 第5号議案 図書館総合展について【報告】

昨年は震災支援のパネルも作ったが、今年は共同保存図書館に絞った内容とし、講座・ブックレットなどについては、その後の活動を反映させた改訂を行った。パンフレット改訂版も配布。

- ※ 昨年は公共図書館関係の来場者が少なかったが、今年は少し戻ってきた。それでもポスターセッションの場所に訪れるのは学校、大学関係者が割に多く、一般の方も目につく。
- ※ 「毎年来ています。ブックレット新刊を買っていきます」という人もいるが少なく、初めて立寄った方や、遠方からの来場者（関西以西からの方が複数）も。陸前高田・矢吹町ボランティアで知り合った人も来場されていた。
- ※ 話を聞いてもらえ買ってもらっているのでも、売り上げだけではない成果がある。買ってもらえなかった方も、質問や励ましの言葉あり、今年は結構多摩デポのPRとして手応えあり。やはりポスターの前に「人がいる」ことが大事。
- ※ ブックレットの売上げは次の通り。
  - ①7冊、②8冊、③13冊、④12冊、⑤7冊、⑥13冊、⑦7冊、計67冊（2011年は46冊）
- ※ 初日のフォーラムの国立国会図書館（大滝新館長）の話に関しては、デジタル化の今後について、この場で新しい方向を示されることはなかった。

#### (6) 第6号議案 東日本大震災支援活動について【報告】

- ・ 陸前高田のレスキュー資料は、第3期のデジタル化が終了。第4期に向け、関係各団体（岩手県立図書館、国立国会図書館、日本図書館協会、盛岡大学）が、12月14日（金）に岩手県立博物館で第3期の成果物と原本の現状を確認し打合せを行う予定。
- ・ 陸前高田市仮設図書館が12/1オープンした。
  - 福島県は、現在は原発事故による避難自治体の図書館は活動困難な状況にあるが、岩手県立図書館が行っている郷土資料収集支援事業のような郷土資料を支える活動が必要になるのではないかな。

#### (7) 第7号議案 館長協議会報告書分析・普及

##### （館長会での座間氏講演を含む）について【報告】

- ・ 館長会からの要請で、10月24日の館長会全体会にこの十年の経過と取り組みについて座間理事長が説明に行き、質疑も受けた。人の多く入れ替わる館長会として再度、認識を持っている段階。館長会からのアクションであることは評価できるが、多摩の公立図書館界、館長会のなかで風化させないために、実情も踏まえやれることを考える必要がある。

#### (8) 第8号議案 多摩デポブックレットについて【報告】

- ・ 12/8 現在事務局在庫+10月末けやき出版在庫/印刷部数(けやき出版預け)
  - ① 41+61/1000(450) ② 122+59/1000(300) ③ 263+36/1400(300)

- ④ 382+47/1200(300) ⑤ 191+58/1000(400) ⑥ 377+10/1000(350)  
⑦ 470+197/1000(300)

・第8号編集進行状況

青木先生に整理したテキストを送付した。お返事まち。並行して、注をつける部分などについて担当者が検討中。

- ・堀越氏・星氏の講演についてのテープ起こしをボランティアの方が行ってくださった。堀越氏部分は一応文章整理まで済み。星氏については、録音状態が悪く、予備機の録音を聞き直してできるだけ補う予定。

(9) 第9号議案 除籍と資料保存の研修会（館長会会長訪問）について【報告】

11月29日、事務局で調布の小池館長（館長会会長）を訪問、情報・意見交換を行った。

- ①八王子の見学会の様子、館長協議会や三資研のこの問題に対する現在の反応、課題。  
②館長協議会全体の合意として、自市で除籍する時は多摩地域内の重複を調べる、二冊以下だったら残す、ということ而努力目標として明確にできないだろうか。議題にできないか。  
③作業が大変な自治体は、やれるところは「多摩デポ」を使うことができる。  
④また、努力目標のために、重複調査のノウハウを共有し合う研修会を館長協議会主催で行なうよう取り組めないか。

→ 小池館長から即答はなかったが、三役と相談するとのことだった。

「多摩デポ」独自の開催より現実を動かすためにはずっと力になることなので、時間はかかるがその方向で、研究していきたい。

(10) 第10号議案 第16回多摩デポ講座について【協議】

※年度の計画では2月開催予定。

1案：ドキュメンタリー映画「40万冊の凶書」上映会ないし、監督による講演会

2案：共同保存図書館実現のための現状の検証会—2012年現在、その環境はどう整っているか

- ① 利用者のリクエスト提供に、多摩市町村借用比率はどう変化してきているか  
② 各自治体は自館資料を除籍する時、多摩地域の希少性をどこまで配慮しているか

(西東京市図書館調査報告)

- ③ 他市蔵書検索と根拠のある除籍作業を効率的に進めるために

多摩デポが行ったこととマニュアル、東大和市・日野市・立川市からのコメント

- ④ 国会図書館の蔵書デジタル化と配信提供構想の現状  
⑤ 「共同保存図書館」理念浸透の現状と実現に向けた行動計画（試案）

→ 以上2案について協議の結果、1案を進めることに決定。日比谷図書文化館での上映会に参加し、監督あるいは担当者とコンタクトをとる。

2案は、研修会のひな型として内々で学習会の形でやることも考えられる。講座としてやるならば、館長協議会の様子を見ながら準備を進める。

(11) 第11号議案 横断検索重複検索作業の候補自治体について【協議】

- ・多摩デポが、今年度事業として行えるとすれば検索のみで3000件程度か。今年度中に着手できるような状況ができれば、事務局で準備し取り組む。  
・会員メーリングリストで横断検索ボランティアの登録を呼びかけ、依頼に対応できるよう準備を進める。

(12) 第12号議案 多摩デポ通信25号の発行について【協議】

- ・1月初旬に発行予定 → 次回多摩デポ講座の進行状況を見ながら発行日確定
  - ・25号構成案 → 了承
- 理事長の年頭の言葉、除籍候補蔵書の他自治体重複検索作業 → お知らせ程度  
事務所保管中の資料の里親探し事業について、八王子図書館見学会（第15回講座）の事業報告・参加者感想文など、第16回講座の案内、(投稿)「映画『40万冊の図書』を見て思ったこと」、図書館総合展報告+ポスターセッション結果  
(情報提供)「多摩地域図書館大会」開催予定、「西東京市図書館主催『震災と図書館』連続講演会」案内、多摩郷土史フェア 1/18-20、小平チャリティ古本市等

(13) 第13号議案 バーチャル depoTAMA の今後について【協議】

データベースの専門家でもある堀越洋一郎氏と齊藤事務局長打ち合わせを予定、今後の方向を探る。

(14) 第14号議案 都立図書館・館長会（多摩図書館大会を含む）について【協議】

日 時：2013年2月5～7日

テーマ：東日本大震災 (2/6 気仙沼市教育長講演)

今年度は多摩デポへの依頼はなし。詳しい情報は分かり次第MLで周知することを了承。

新多摩図書館についても新しい情報はないが、引き続き情報を集める。

5 情報交換

特になし

6 その他

- ★ 次回の理事会 2月 5日（火） 午後6時半～ 場所未定
- ☆ 次回の事務局会議 1月27日（日） 午前～午後 場所未定

7 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、齊藤誠一理事と田中ヒロ理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2012年12月11日

議長

議事録署名人

議事録署名人